

NPO救命おかやま 会報

Vol. 42

NPO
救命おかやま
Kyumei Okayama
2025. 1. 1 発行



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。



1. ご挨拶

NPO 救命おかやま理事（平井耳・鼻・のどクリニック） 山本英一

笑いは様々な分野で効能があります。「生きがい療法」で有名な伊丹仁朗医師（すばるクリニック）は、お笑い演芸を楽しんだ被験者達のNK活性とOKT4/8比が劇的に変化したことより、笑いが免疫能を強化することを報告しました。頭頸部がんの治療を担当していた時期に先生とお話する機会があり、この実践会に紹介した患者さんに笑顔が戻って、日々の生活を積極的に過ごされたことをご家族から知り、笑いの有用性を医療分野で実感しました。



教育の現場ではどうでしょう。受ける側は知識を詰め込まれるだけでなく、試験がある、評価されて比較されるのではないかと緊張の連続です。教える側にも同様にストレスが生じますが、NPOの講習では笑いがあり、この緊張やストレスをあまり感じません。日頃の仕事に直結した確実な内容を題材にし、失敗や反省点を上手に活かせるような気配りをインストがしているからでしょう。とくに、緊張の強い受講者に対しての心づかいはチューターの重要な役割でもあります。

笑いは、ウィット（人を刺す笑い）、コミック（人を楽しませる笑い）、ユーモア（人を救う笑い）に分類されます。笑いに満ちた講習会では緊張がほぐれ、教える側もストレスから解放され、とくに、ユーモアを感じ取れる能力が高く、心理的に余裕ができたグループの教育効果は目を見張るものがあります。前述の生きがい療法では、参加者にスピーチが義務付けられ、笑いのある小話を披露します。私の親父ギャクのように滑ってばかりではいけませんが、自分で創作したスピーチが免疫力を高め、会の目的を達します。

ICLSコースにインストとして参加していた時には、職務の中で遭遇しそうなシナリオを工夫したり、小道具を作ったりして楽しみました。その時の私の免疫指標はきっと良い数値を示していたはずです。会員の皆様におかれましては、指導者講習などでのスキルアップに加えて、驚きとユーモアセンスのある自分独自の教え方も工夫して欲しいのです。新しい年が始まりました。笑う門には福来ると、笑いは健康だけでなく幸せも運んでくるようです。笑いは人間にとって有益であると社会から認識され、教育においても関心は高まっています。笑顔あふれる講習会をこれからも続けていただければと思います。

2. ご報告

◆第19回総会・2024 講演会のご報告

（2024年7月20日 於：岡山ブラザホテル）

■ 第19回定時総会

理事長：氏家良人（函館市病院局長）

“NPO 救命おかやま”は2024年6月より19年目を迎えました。2024年7月20日（土）に岡山ブラザホテル「鶴鳴の間」にて、第19回定時総会を開催致しました。議長に氏家が任命され総会議事を進めました。

議題は報告事項として、1) 2024年度会員動向、2) 2023年度事業報告について説明がなされ、審議事項は、1) 2023年度収支決算、2) 2024年度事業計画、3) 2024年度収支予算案などがあげられ、それぞれ協議がなされました。会計については、監事の監査により、問題なく会計処理され収支が維持されていることが述べられ承認されました。ただ、コロナ以降のコース減少で収入が減少している状況は続いており、厳しい運営がなされていることより、経費節減のための「事務局移転」が検討事項として挙げられ、承認が得られました。この承認を受けて、NPO 救命おかやまの事務局は、10月1日より新事務所に移転したことを報告いたします。尚移転の詳細は、事務局からの報告よりご確認ください。

■ 2024 講演会

理事：羽井佐実（川崎医科大学総合医療センター）

◇特別講演1：『おかやまマラソンでのNPO 救命おかやまの活動 ～日本臨床救急医学会学術論文掲載報告～』

角南和治先生（NPO 救命おかやま監事・岡山協立病院）

◇特別講演2：『NPO 救命おかやまのICLSコース開催：コーステキスト、コンセンサスの意義とその分析』

氏家良人先生（NPO 救命おかやま理事長・函館市病院局）

羽井佐実先生（NPO 救命おかやま理事・川崎医科大学総合医療センター）

定時総会に続き2024講演会を開催しました。例年、特別講演は外部講師をお招きしてきましたが、今年はNPO活動の集大成の一つである「おかやまマラソンでのNPO 救命おかやまの活動」と現在のNPO活動の中心ともいえる「ICLSコース開催」をテーマに会員による講演が企画されました。特別講演1は、木下理事による座長のもと「日本臨床救急医学会学術論文掲載報告」として、筆頭著者である角南監事より論文内容の紹介と論文文化の背景となったおかやまマラソンへのNPO 救命おかやまの関わりが楽しくそして熱く紹介され参加者の大きな関心を集めました。特別講演2は、昨年から続くICLSコースコンセンサス改訂作業を受けての企画であり、「ICLSコース：コーステキスト、コンセンサスの意義とその分析」と題して、氏家理事長よりICLSコース開催に関しての歴史的考察がNPOの歴史と共に報告され、理事羽井佐からは学習支援・インストラクショナルデザインの立場からの考察が紹介されました。各講演とも盛りだくさん内容で時間がタイトになりましたが、非会員11名を含む45名の参加者と共に思いのこもった講演会となりました。



総会



受付



講演会



【演者】 角南先生

氏家先生

羽井佐先生

【座長】 木下先生、氏家先生、羽井佐先生



【懇親会】 《ご挨拶》



【役職顧問】

岡山県医師会長 松山先生

岡山県歯科医師会 清水先生

岡山県消防長会 上田様

《つどい》



◆第17回市民のための救命講習会及び2024おかやまマラソンのご報告

【第17回市民のための救命講習会】2024年11月9日（土）於：ジップアリーナ

監事：角南和治（岡山協立病院）

おかやまマラソン前日、市民のための救命講習会が開催されました。マラソンランナー21名を含む59名が受講され、インスト・スタッフも31名が集まりました。毎年来てくださる岡山シーガルズからは中心選手の檜崎慈恵さんが参加され、とても貴重な経験になったと話してくれました。今回は長谷川さん、竹並さんがマリオ、ルイージに扮しての進行で、イメージもピッタリで子供たちにも大好評でした。受講したランナーは全員メディカルランナーとして走ってくれました。楽しさの中に充実した内容がぐっとつまった講習会となり、救命おかやまの素晴らしさを改めて感じたイベントでした。



【2024 おかやまマラソン】

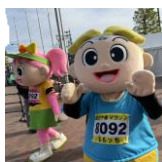
2024年11月10日（日）

理事：木下公久（川崎医療福祉大学）

岡山マラソン 2024 は、天候にも恵まれ 16000 名を超えるフルマラソンランナーが岡山の街を快走されました。今回、22km 付近で心停止のランナーが発生しましたが、ドクターランナーの方の素早い対応と近辺救護所の医療スタッフのご協力のおかげで、現場で自己心拍が再開しました。意識の回復がみられないまま岡山大学病院に搬送されましたが、翌日には意識が回復しその後数日で後遺症なく社会復帰されたこととっております。今回は例年になく救急車の要請件数や救護所での対応事案が多く、医療スタッフを始めサポーターの方々や消防のみなさんは大変お忙しい思いをされたと思いますが、前述の心停止の方を含め全事案とも事なきを得たことについては、ご協力いただいた皆様への感謝しかありません。本当にありがとうございました。今後とも NPO 救命おかやまの活動にご協力のほどよろしくお願いいたします。



自転車 AED 班



マラソン本部



フィニッシュ AED 班



待機 AED 班



◆事務局移転のご報告



事務局長：岡本知子

理事長から報告がありましたように、鹿田町の事務局が移転致しました。移転により、登録住所・電話番号は以下の様に変更になりましたので会員の皆様にご連絡いたします。新しい事務局は器材庫をメインに、第2事務局（事務局長自宅）には事務室をメインに移転いたしました。尚、新しいofficeは、関係先のお家の1室を借りておりますため、今後可能な限り、メールでの対応をさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

【事務局新住所】 ※関係先・会員以外には基本連絡しておりません。会員の皆様は郵送された会報をご覧ください。

※旧住所送付の場合でも転送手続きをいたしておりますので新住所の事務局に届きます。

【連絡先 TEL】 ※関係先・会員以外には公表しておりません。※急ぎ以外は基本メールでの対応をお願いいたします。

<7/21> → → <9/13(土)> → → <9/27(金)> → → <10/1(火)>



事務局から器材搬出 & 新事務局へ器材搬入



事務局引渡し & 登記申請



※事務局長自宅 NPO room



NPO講演会の翌日 7/21(日)に器材確認と仕分けを行い、まだまだ夏の如く暑かった 9/13(金)に事務所から新事務所へ器材の搬出・搬入を行いました。9/27(金)に事務局引渡しを行い、事務所の看板も外しました。また同日住所変更の登記を申請し、無事法務局での登記も終わり、事務所移転は滞りなく終了いたしました。

5. 事務局からのご案内



★2025 講演会:2025 年 7 月 26 日 (土)開催★

2025 講演会は、石見 拓先生（京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻予防医療学分野）を講師としてお招きし、『～AED 市民解禁から20年の成果と課題～心臓突然死を減らす多面的・戦略的アプローチ』についてお話をいただきます。皆様奮ってご参加ください。

※次回会報 Vol.43(2025.06)発送時に講演会パンフレットを同封送付いたします。

◆会費請求(ご案内) ◆住所・勤務先の変更ご連絡依頼

2024 年度は、2024 年 6 月～2025 年 5 月までです。会費のお振込みがまだの方は会費納入をよろしくお願い致します。住所・勤務先、メールアドレス等の変更はお早めに随時事務局までメール・FAXにてご連絡ください。



【発行元】

特定非営利活動法人

NPO救命おかやま 事務局

E-mail: office@kyumeiok.sakura.ne.jp

HPアドレス: <http://npo-ok.umin.jp>

